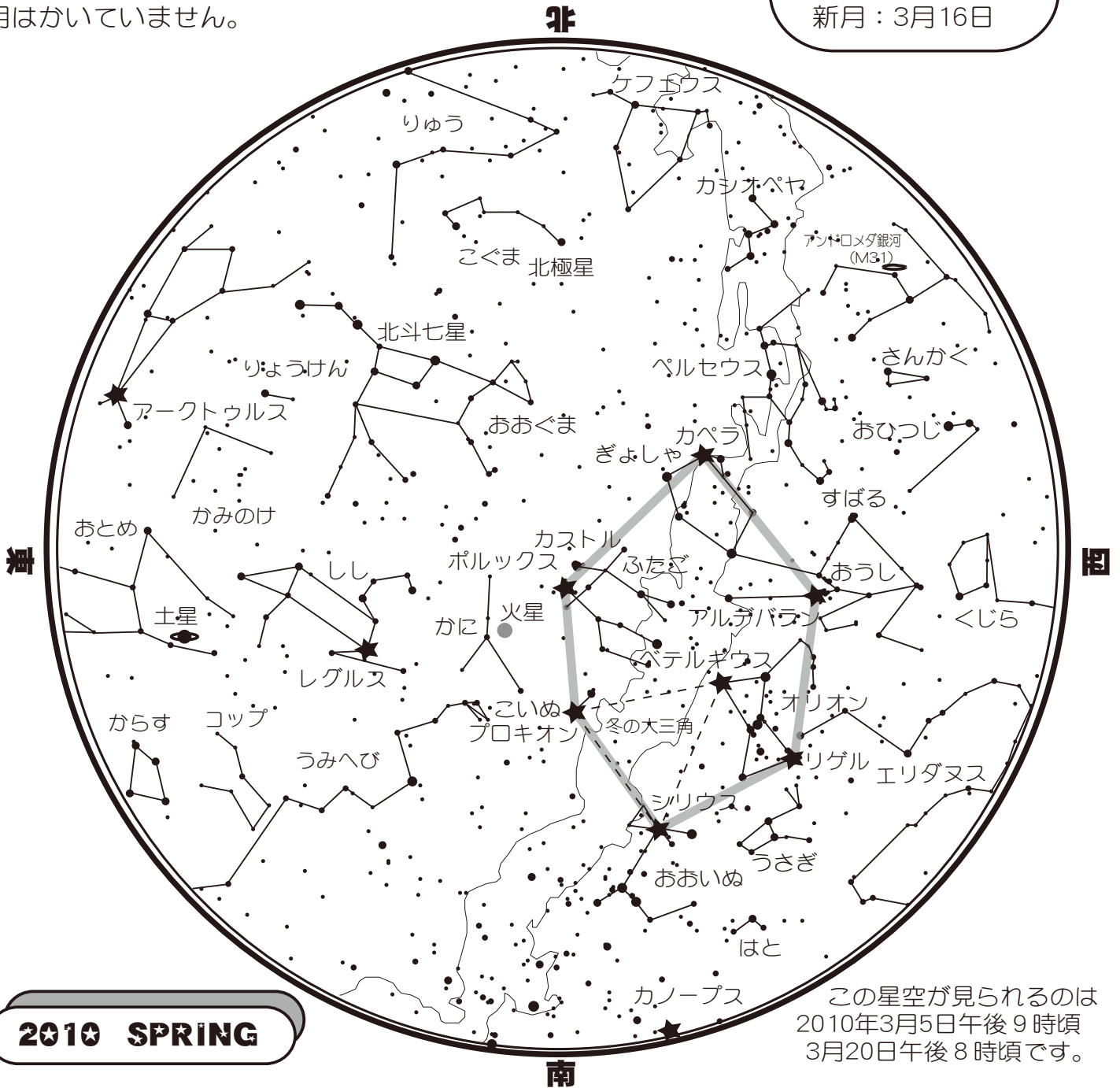


★ 姫路で見る3月前半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

満月：3月1日
下弦：3月8日
新月：3月16日



この星空が見られるのは
2010年3月5日午後9時頃
3月20日午後8時頃です。

2010 SPRING

南西の空を見上げて最初に見つかるのは、砂時計のような星の並びのオリオン座です。オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンを線で結んでつくる「冬の大三角」はもうおなじみですね。頭の上には、ふたご座の仲よし星ポルクスとカストルや、ぎよしゃ座の一等星カペラが輝いています。おうし座のすばる（プレアデス星団）も見逃せません。町明かりの少ない空で、すばるの星を数えてみましょう。

東の空にのぼってきた動物の星座が、春のおとずれを知らせてくれます。かに座、しし座、うみへび座はギリシャ神話では、人々を困らせていた化け物星座として登場します。まずは、？（はてな）の裏返しと一等星のレグルスを目印に、しし座から探してみましょう。

かに座にはプレセペ星団があります。双眼鏡などで、ふたご座としし座の間で探してみましょう。うみへび座はこいぬ座を食べようとしているようです。こいぬを追うようにつづくへびの体は星座の中で最長！なんと、夏の星座のてんびん座あたりまで続いているのです。

星座の中を移動して見える惑星の仲間では、かに座に火星、おとめ座に土星が輝いています。